

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

平成 28 年 9 月 30 日

# 嶮山小通信

10月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

「ああ 嶮山の校章を 高く掲げて胸を張り」

校長 山口 昭代

6年生児童が参加する『第66回 横浜市立小学校体育大会』が10月12日に迫ってきました。大会は横浜市18区を二日間に分け、日産スタジアムを会場に行われます。

嶮山小学校では、特別練習への参加を希望する30名を超える6年生が、9月1日から熱心に早朝練習を続けてきています。

先日は、すすき野中学校を訪問し、主に陸上部の中学生から走り方の基本練習やバトンパス等を指導していただきました。それは本当に有り難く、正に、生きた小中連携そのものだと、心から感謝します。管理職も先生方も子どもたちも、互いの目指す方向や願いを『すうーっ』とわかり合い、理解し、円滑に、流れるように進む調整のあり方などに、この地域でともに育まれている学校同士の、共感的で協働的で、何よりあたたかい<嶮山・すすき野ハーモニー>を実感します。

また、今年は、市の大会の代表選手用に、PTA 特別会計より児童用陸上ユニフォームを新調していただきました。嶮山小運動会でも活用できるように公平を期し、赤組系所属カラー（赤やオレンジやピンク）と白組系所属カラー（白や水色や青）を除いたところ、「黒」が最有力候補となりました。デザインのラインと「嶮山」の校名を加えて、どのような出来映えとなるのか、今から楽しみにしています。漆黒の衣装で5・6年生が力の限り演技する『ソーラン節』とともに、黒色が運動場を躍動する秋の日になりそうです。

さて、私は、子どもたちの歌う嶮山小学校の校歌が好きです。さらに言えば、嶮山小学校の校歌を歌う子どもたちが大好きです。それは私だけでなく、本校の教職員全員が同じ気持ちだと思っています。

4月に出会って今日まで、体育館での全校児童の校歌斉唱を、5回、ともに歌ったり、聴いたりという機会を得てきました。（思い返してみても、たったの5回??と意外に思うほど身近に感じているのですが。）近いところでは、先日9月6日の五十嵐千尋選手来校の時でした。全員の心が一つになって、校歌が体育館中に響き渡りました。卒業生である五十嵐選手も自信をもって堂々と歌ってくださいました。胸が熱くなる瞬間でした。

歌詞にも曲にも、嶮山小学校のよさや憧れが詰まっていて、本校の子どもたちみんなが、「一生懸命」声を響かせられる曲調ではありますが、特筆すべきは、本校児童が「歌う」子どもたちであることです。自分の学校の校歌を、姿勢を定めて、力強く、夢中で歌える子どもたち。そのことが嬉しいのは、確かな愛着や敬意や誇りを知らず知らずに育みながら、学校教育目標<夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったかハーモニー>に近づいている姿そのものだと感じるからでしょう。市の体育大会も運動会も楽しみがふくらみます。

保護者のみなさま、地域のみなさま、今月もどうぞよろしくお願い申し上げます。